

# 岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 61  
2021.5

TOPICS

1

## 岡山大学異分野基礎科学研究所竣工式を挙げる



3月に本学異分野基礎科学研究所棟の新営工事が完了し、5月12日、新棟の竣工式を挙行しました。式には榎野博史学長、高橋香代理事(企画・評価・総務担当)、那須保友理事(研究担当)・副学長、鶴田健二学術研究院自然科学学域長、市岡優典理学部長、高橋裕一郎異分野基礎科学研究所長ほか、教職員約40人が出席しました。

異分野基礎科学研究所は、本学においてこれまで活発に展開してきた量子宇宙研究、光合成・構造生物学研究ならびに超伝導・機能材料研究を、統一かつ組織的に遂行するために平成28年に設置された研究所です。これまで独立して取り組まれてきたこれらの研究テーマを、異なる分野の研究者の視点を癒合し、新たな学問体系を構築することを目指しています。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10273.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10273.html)



TOPICS

2

## 岡山県商工会連合会と連携・協力に関する協定を締結

5月20日、相互の連携を強化し、地域の発展とSDGsの達成へ貢献することを目指して、岡山県商工会連合会と連携・協力に関する協定を締結しました。これまで同会とは、SDGsを基本理念とするスポーツによる持続可能なまちづくりや、中小企業・小規模事業者への経営支援による持続的経営を推進するなど、地域活性化に向け連携してきました。

今後は県内各商工会の仲介により、生産性向上・DX推進のための技術指導や共同研究促進など、会員事業者と本学とによる産学連携を行います。また、若手経営者を対象としたリカレント教育や、学生の地元企業への就職促進などの人材育成事業も実施します。さらに、本学発ベンチャー企業についても、各商工会に経営面からサポートいただき、その育成を図ることとしております。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10270.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10270.html)



Pick up!

## 岡山大学コロナ対策応援団による感染対策動画を公開！



岡山大学応援団総部応援団による岡山大学コロナ対策応援団が、感染予防に対する学生の意識を高めるため、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を呼びかける動画を制作しました。ぜひご覧ください。

- 第1弾: コロナ禍での飲食マナー
- 第2弾: コロナ禍での公衆衛生マナー
- 第3弾: 普段のコロナ対策 その1
- 第4弾: 普段のコロナ対策 その2



参考 [https://www.youtube.com/playlist?list=PLJikPQTwoCj5EU\\_zHuc2ZT8-nl9yND8So](https://www.youtube.com/playlist?list=PLJikPQTwoCj5EU_zHuc2ZT8-nl9yND8So)

## TOPICS

## 3

## 法学部公認サークル「岡山大学法友会」が、消費者庁「消費者支援功労者表彰」の内閣総理大臣表彰に選ばれました

消費者利益の擁護・増進のために活躍する方々を表彰する、消費者庁の令和3年度「消費者支援功労者表彰」が4月28日発表され、法学部公認サークル「岡山大学法友会」が、筆頭となる内閣総理大臣表彰に選ばれました。本表彰は消費者支援活動の奨励のため、平成23年度の消費者庁創設から毎年行われています。

法友会は現在47人で、平成29年度から、近隣の中学・高校に出向き継続して法教育・消費者教育を実施。授業では岡山県消費生活センターの教材を用い、「コンサートチケットをダフ屋から購入することが法的に問題になるか」「ネット上のどのような書き込みが法的に問題になるか」といった事例について、ロールプレイやグループワークを交えながら授業を展開。地域社会の消費者教育に貢献してきたことが高く評価され、消費者支援功労者表彰の中でも、極めて顕著な功績があったと認められる個人・団体に授与される「内閣総理大臣表彰」の受賞が決まりました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10245.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10245.html)



## TOPICS

## 4

## 経済学部日高ゼミの学生による企画案を掲載した旅行商品が、「鉄旅オブザイヤー2020」にて「DC部門賞」を受賞



企画性やオリジナリティの高い優れた鉄道利用旅行商品に送られる「鉄旅オブザイヤー2020」の結果発表および授賞式が4月21日に開催され、学術研究会社文化科学学域（経済）日高優一郎准教授ゼミの学生が2019年度に起案した、倉敷・児島を巡るモデルコース「せとうち広島デスティネーションキャンペーン JRで行く！瀬戸内スペシャル」（株式会社日本旅行）が旅行会社部門のDC部門賞を受賞しました。

商品を提案したのは2019年度日高ゼミの経済学部3年生（当時）の5人で、「ハンドメイドテイスト」に関心のある20～30代の女性の3つの共感ポイントを突き止め、倉敷・児島エリアの地域資源の魅力を掘りおこしながら、回遊性ある観光行動を考案。「ハンドメイド」という顧客の軸に注目しながら、成熟しているからこそ既存資源に新しい見せ方を添えることで、強い顧客満足を創りつつ周遊行動を創出できるとした内容を提案しました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10249.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10249.html)

PRESS  
RELEASE

## 南の植物ほどセンシティブ：異なる緯度に生育する植物が感受性の異なる環境センサーを持つことを世界で初めて発見

岡山大学資源植物科学研究所の池田啓准教授らのグループは、光環境や気温が異なる場所に生育する植物が、光や温度に対する感受性の異なる環境センサー（フィトクロム）を持つことを世界で初めて発見しました。本研究成果は5月4日、英国の植物学雑誌「New Phytologist（電子版）」で公開されました。

植物は、周囲を取り巻く光環境や気温を感知するセンサーとしての役割を持つタンパク質を用いることで、環境に適応して生きるための生理現象を制御しています。本研究成果は、日本列島と北極周辺という、生育環境が大きく異なる場所に生育する植物の生理特性や進化を調べることで、異なる環境に生育する植物が、感受性の異なる環境センサーを進化の中で獲得したことを明らかにしました。

本研究成果は、植物が地球上のさまざまな環境に適応し、多様化を遂げた仕組みを、植物の生理現象を制御する分子機構の観点から理解できるようにする基盤を構築します。また、あらゆる農作物に対して、栽培環境に最適な性質を持つ植物をデザインできる汎用性のある技術を新たに創出することにつながる発見です。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id829.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id829.html)

